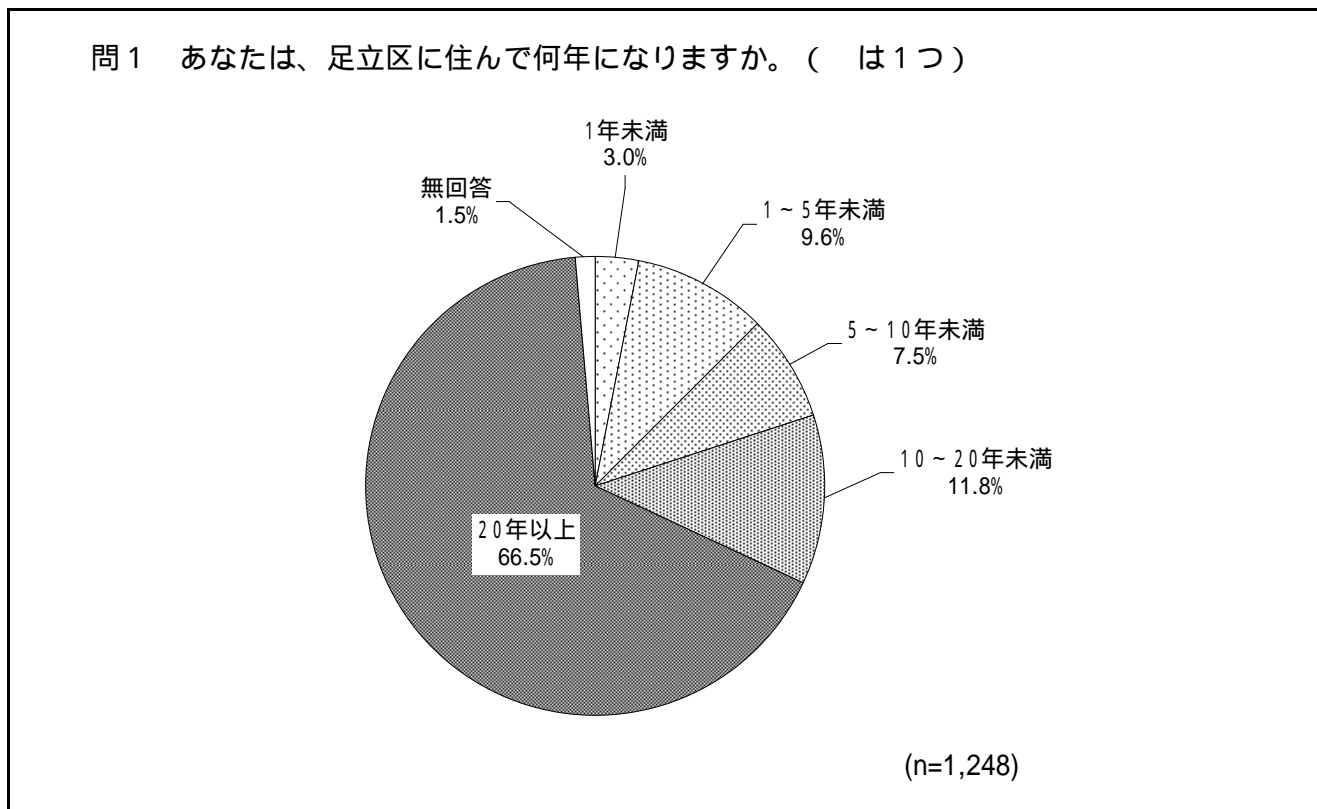


1 定 住 性

(1) 居 住 年 数

20年以上の《長期居住者》が全体の66.5%を占める



区民の居住年数は、「20年以上」の《長期居住者》が66.5%と全体の6割強を占めている。次いで5年から20年未満の《中期居住者》が19.3%（「5～10年未満」7.5%、「10～20年未満」11.8%）、5年未満の《短期居住者》が12.7%（「1年未満」3.0%、「1～5年未満」9.6%）となっている。

地域ブロック別にみると、図1 - 1 - 1のとおりである。

《長期居住者》では第9ブロックが79.2%と最も高い値を示している。一方、《短期居住者》は第2ブロックで23.8%、第7ブロックで22.8%と20%を超えている。《中期居住者》では、第5ブロックで24.6%、第6ブロック、第7ブロックでそれぞれ25.0%、第8ブロックで22.3%、第10ブロックで21.7%と20%を超えている。

図 1 - 1 - 1 居住年数（地域ブロック別）



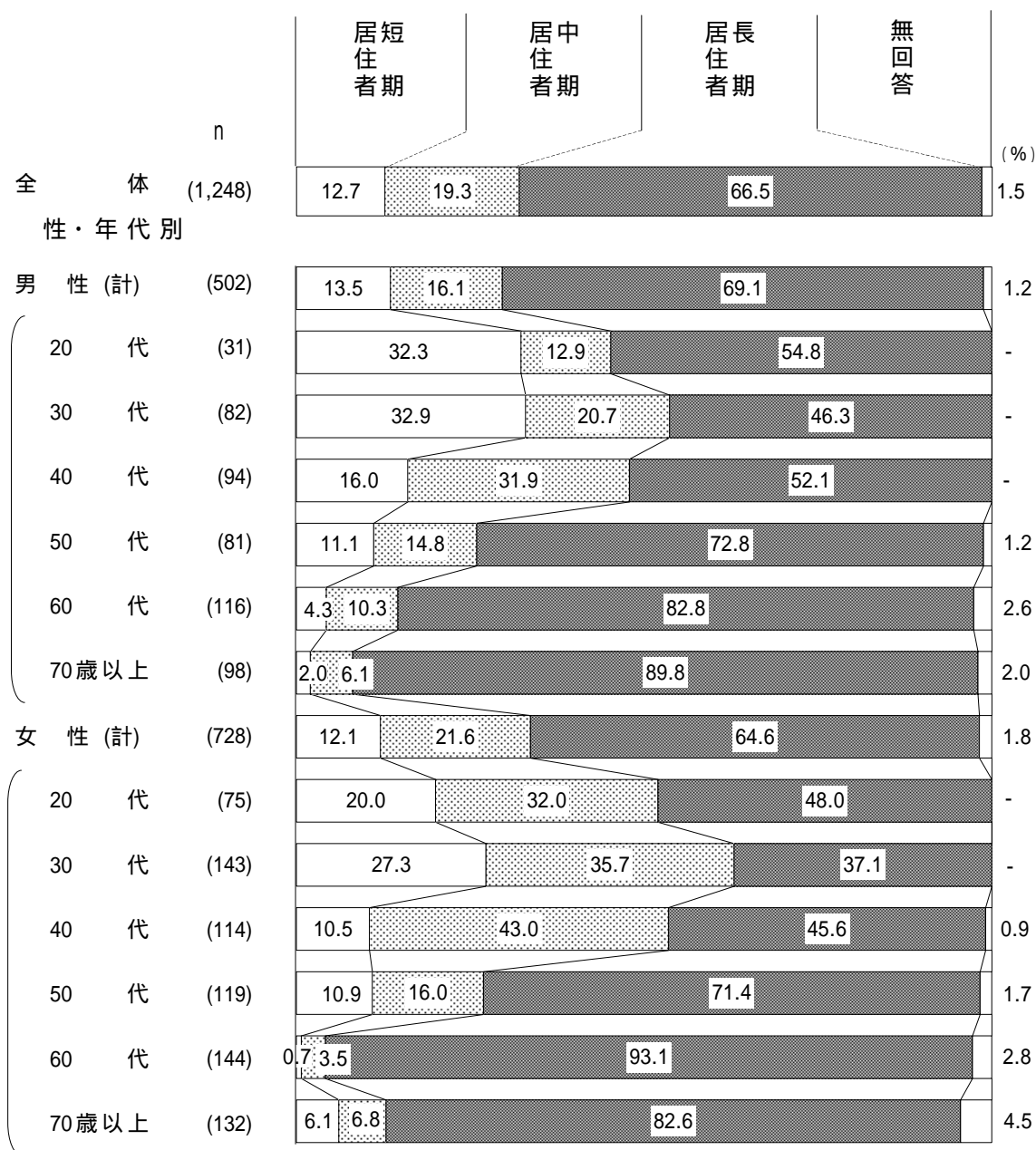
ブロック区分



性・年代別にみると、図1 - 1 - 2のとおりである。

《長期居住者》で80%を超えているのは、男性、女性ともに60代、70歳以上である。《短期居住者》では、男性の20代・30代がそれぞれ32.3%と32.9%で30%を超えており、女性では20代・30代がそれぞれ20.0%と27.3%で20%を超えている。

図 1 - 1 - 2 居住年数 (性・年代別)



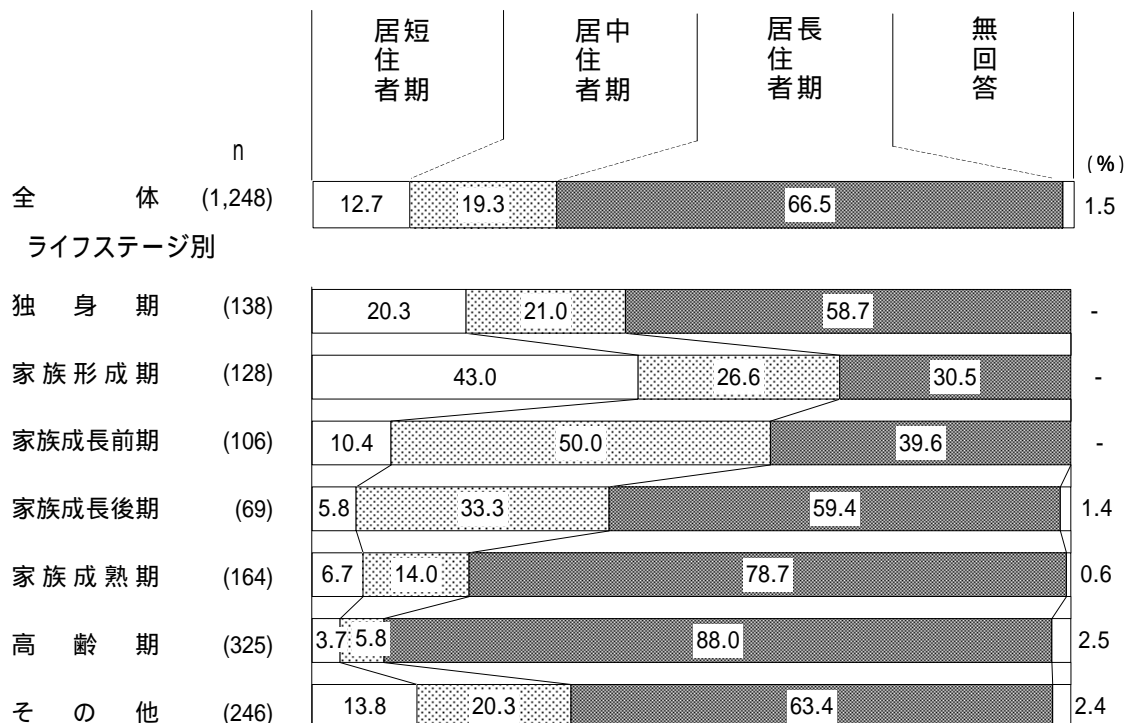
ライフステージ別にみると、図1-1-3のとおりである。

〈長期居住者〉では高齢期が88.0%と最も高く、次いで家族成熟期が78.7%と続いている。

一方、〈短期居住者〉では家族形成期が43.0%と最も高くなっている。

〈中期居住者〉で最も高い値を示したのは、〈家族成長前期〉で50.0%である。

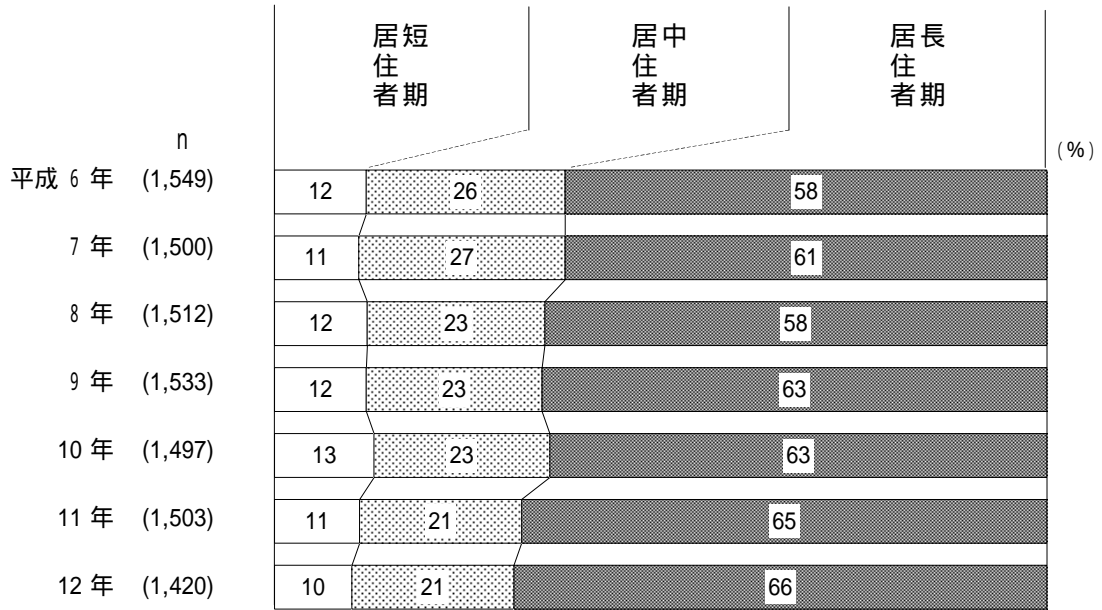
図 1 - 1 - 3 居住年数 (ライフステージ別)



参考 居住年数の推移

(平成12年まで 訪問面接法)

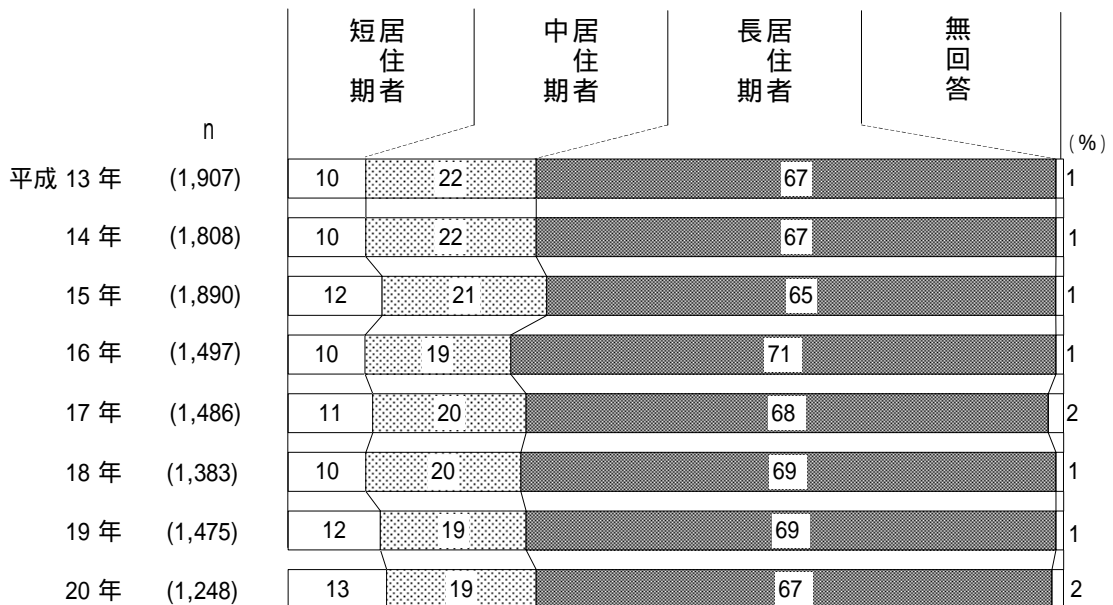
問 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。(は1つ)



(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問1 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

(は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

(2) 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点

暮らしやすい点は「普段の買い物が便利」が最も高い

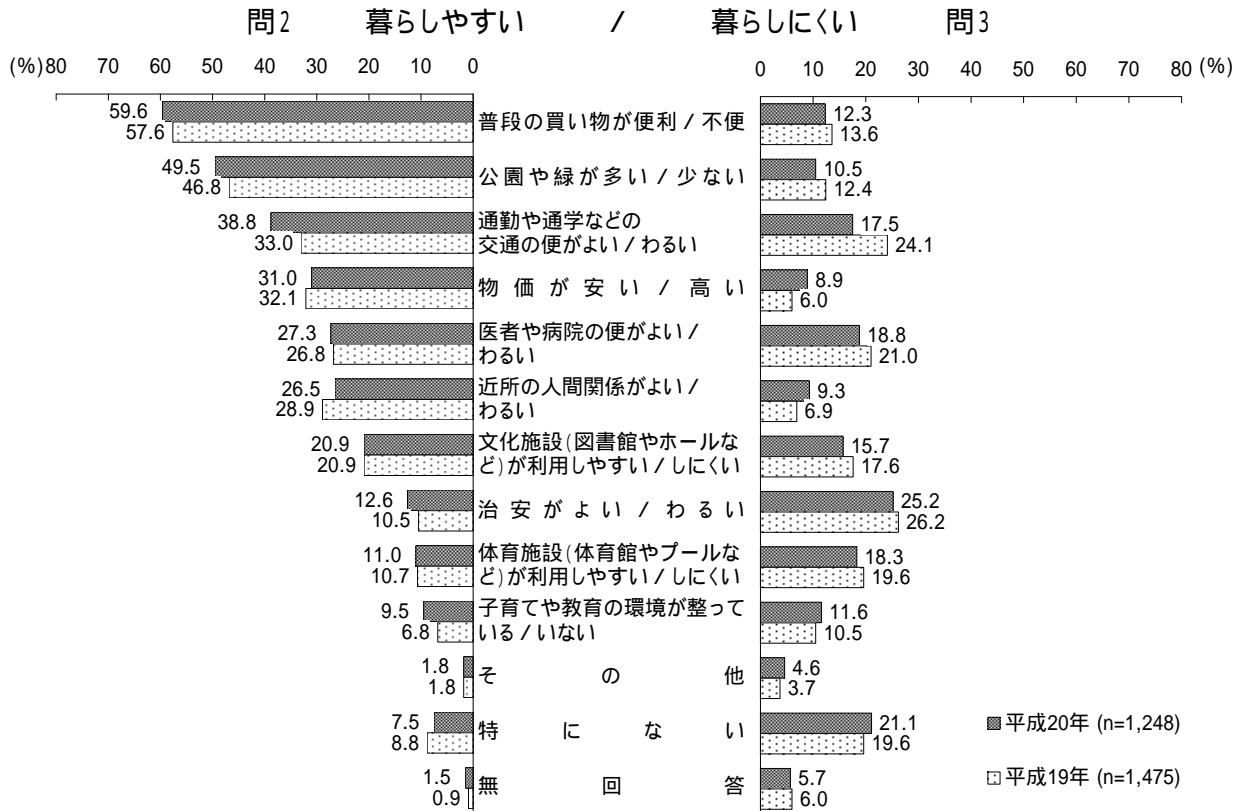
暮らしにくい点は「治安がわるい」が最も高い

問2 あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに)

問3 あなたのお住まいの地域について、暮らしにくいと感じる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに)



今住んでいる地域の暮らしやすい点については、「普段の買い物が便利」が59.6%と最も高く、次いで「公園や緑が多い」が49.5%、「通勤や通学などの交通の便がよい」が38.8%、「物価が安い」が31.0%の順となっている。特に第3位である「通勤や通学などの交通の便がよい」は、平成19年と比べ、5.8ポイント上昇している。

一方、暮らしにくい点は、「治安がわるい」が25.2%と最も高く、次いで「医者や病院の便がわるい」が18.8%と続いている。また「特にない」も21.1%を示している。「通勤や通学などの交通の便がわるい」は17.5%で、平成19年と比べて6.6ポイント下降している。

地域ブロック別にみると、図1 - 2 - 1のとおりである。

暮らしやすい点では全体で第1位の「普段の買い物が便利」では第8ブロックが72.3%と最も高い。全体で第2位の「公園や緑が多い」は第12ブロックの70.5%、第3位の「通勤や通学などの交通の便がよい」は第1ブロックの72.0%が最も高い。

暮らしにくい点では、全体で第1位の「治安がわるい」は、第6、8、10ブロックで30%台を示し、第2位の「医者や病院の便がわるい」、第3位の「体育施設(体育館やプールなど)が利用しにくい」は第2ブロックが最も高く、それぞれ36.3%、47.5%を示している。

図 1 - 2 - 1 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点 (地域ブロック別)
 < 第1ブロック >

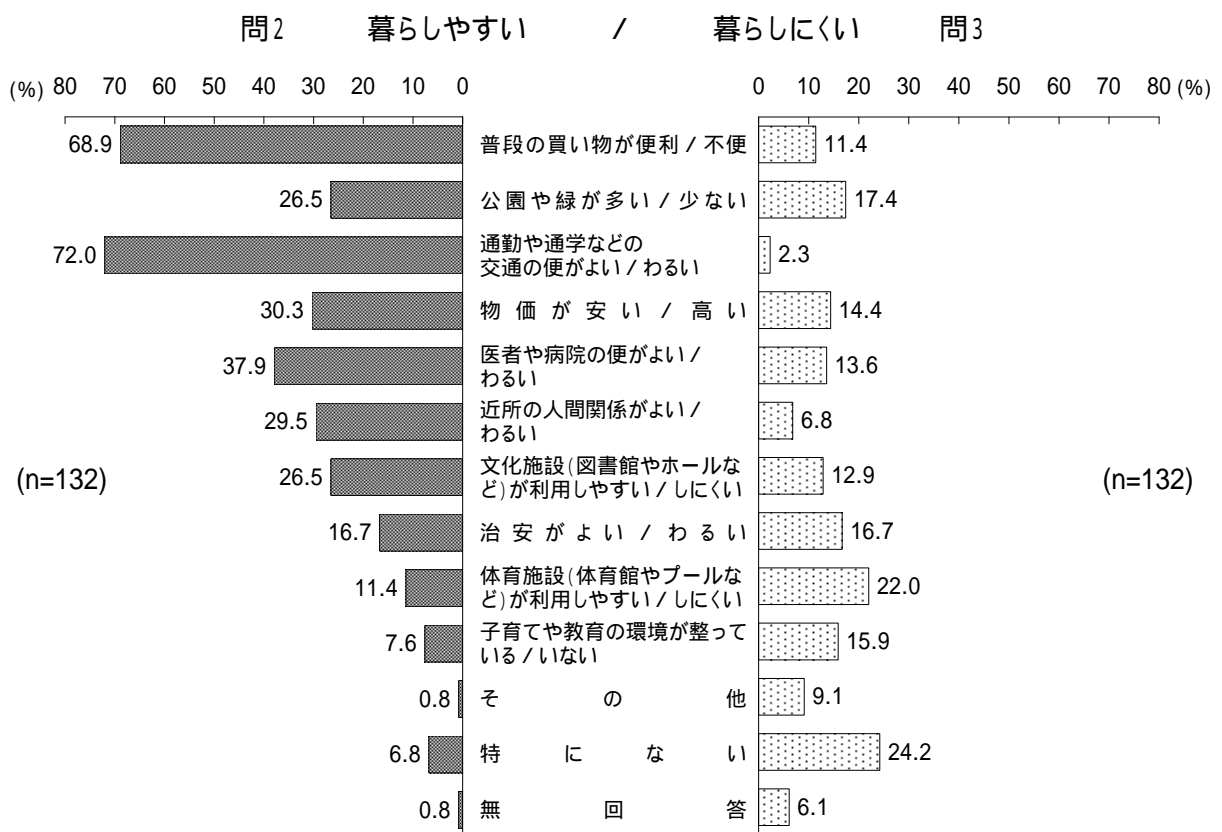


図 1 - 2 - 1 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

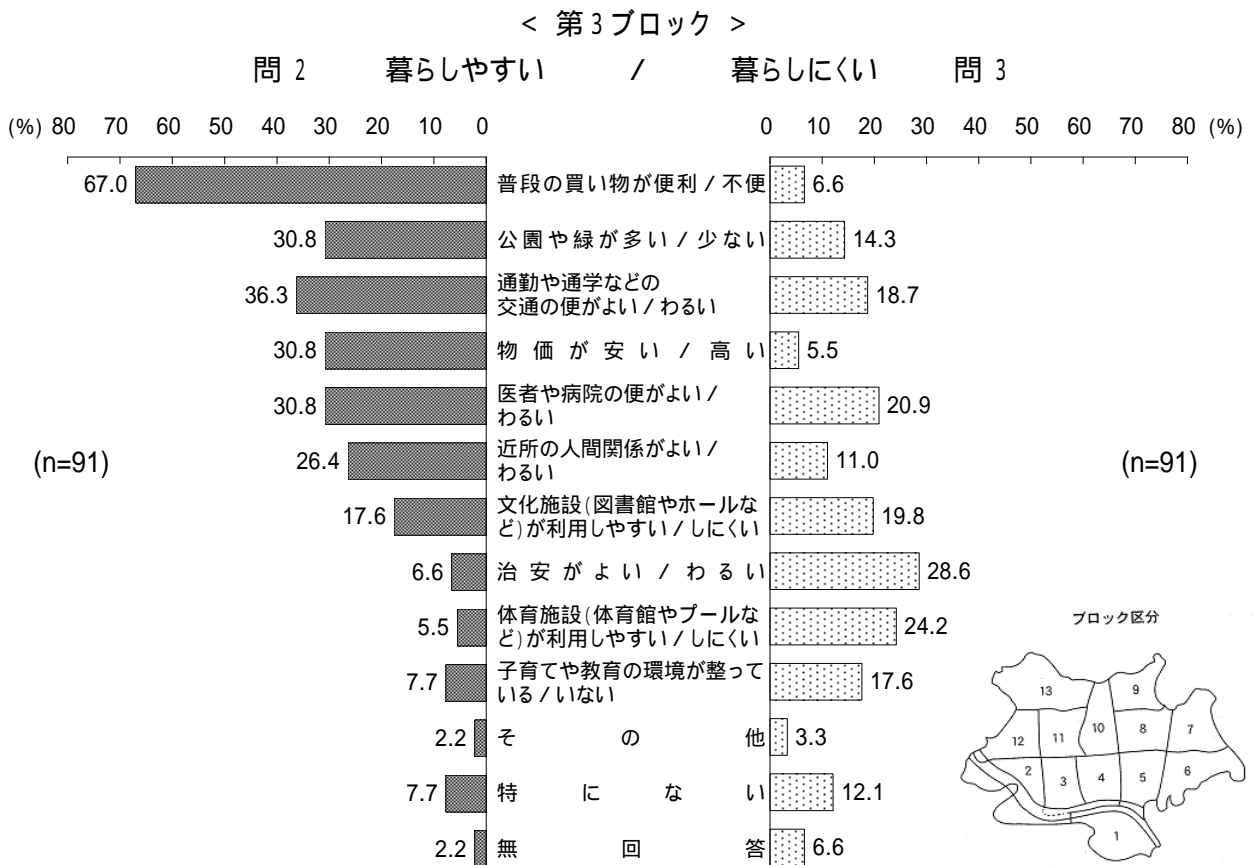
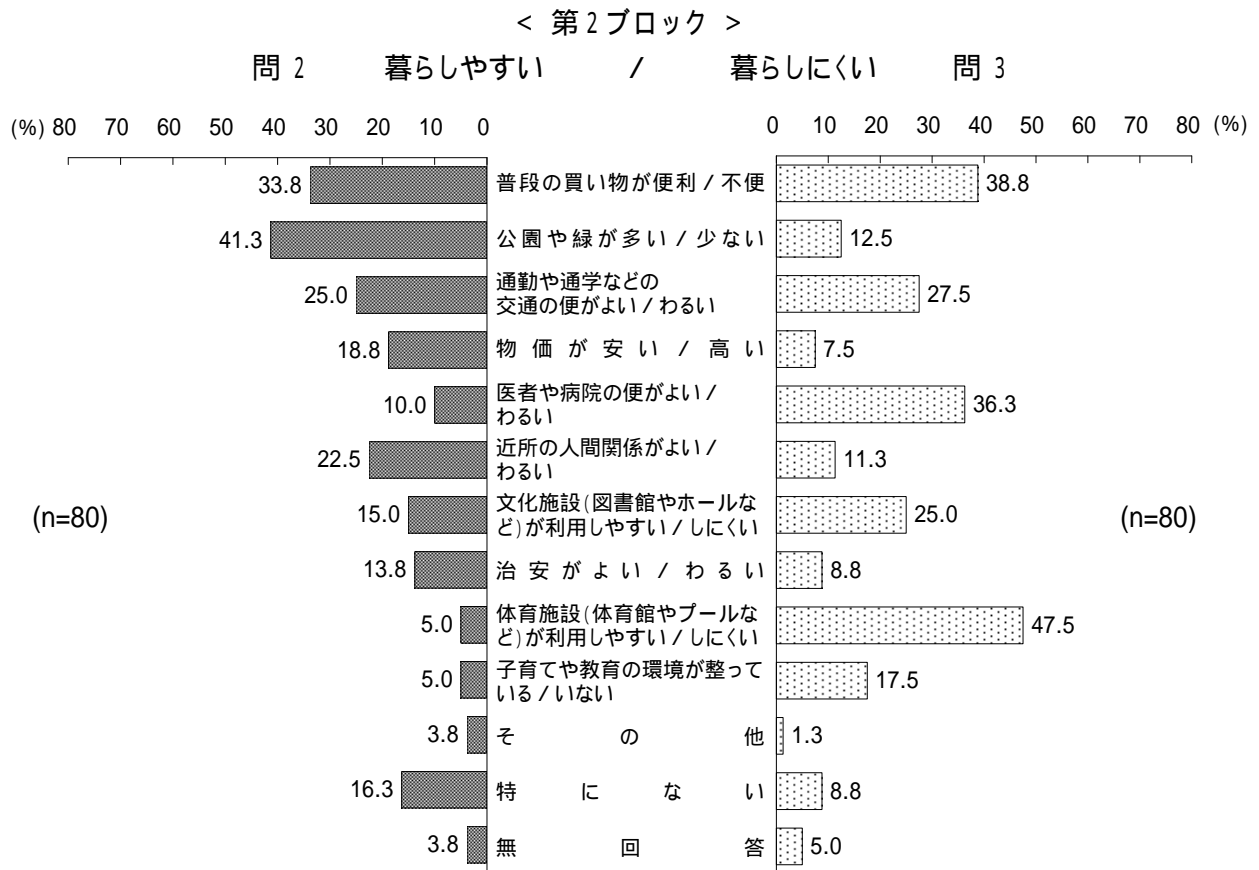
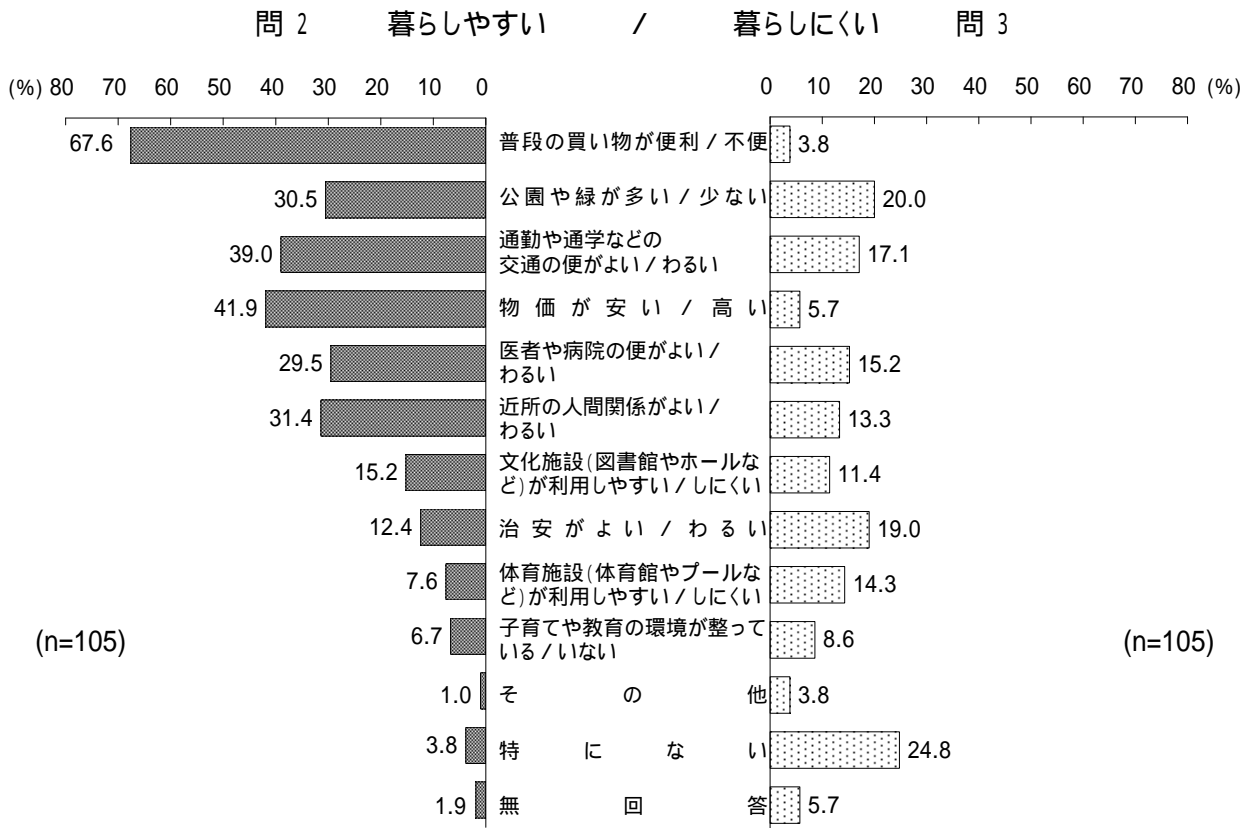


図 1 - 2 - 1 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

< 第4ブロック >



< 第5ブロック >

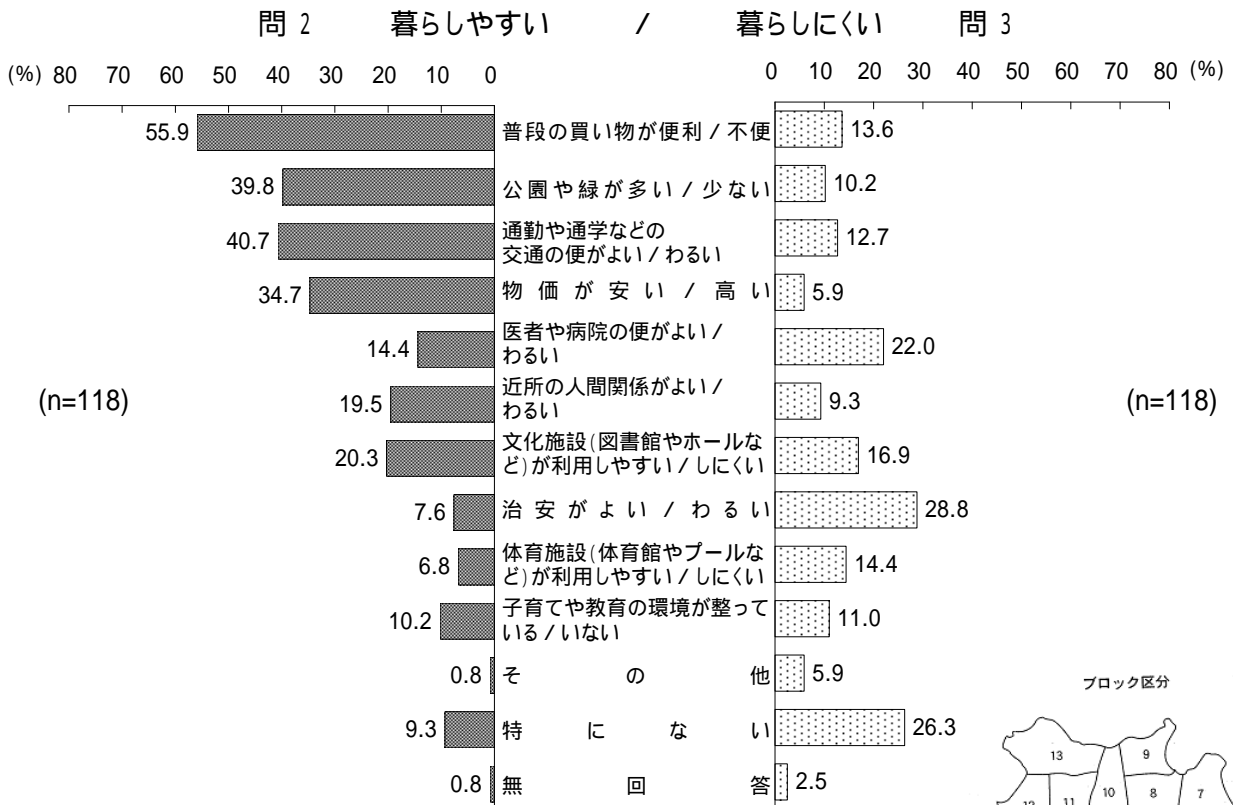
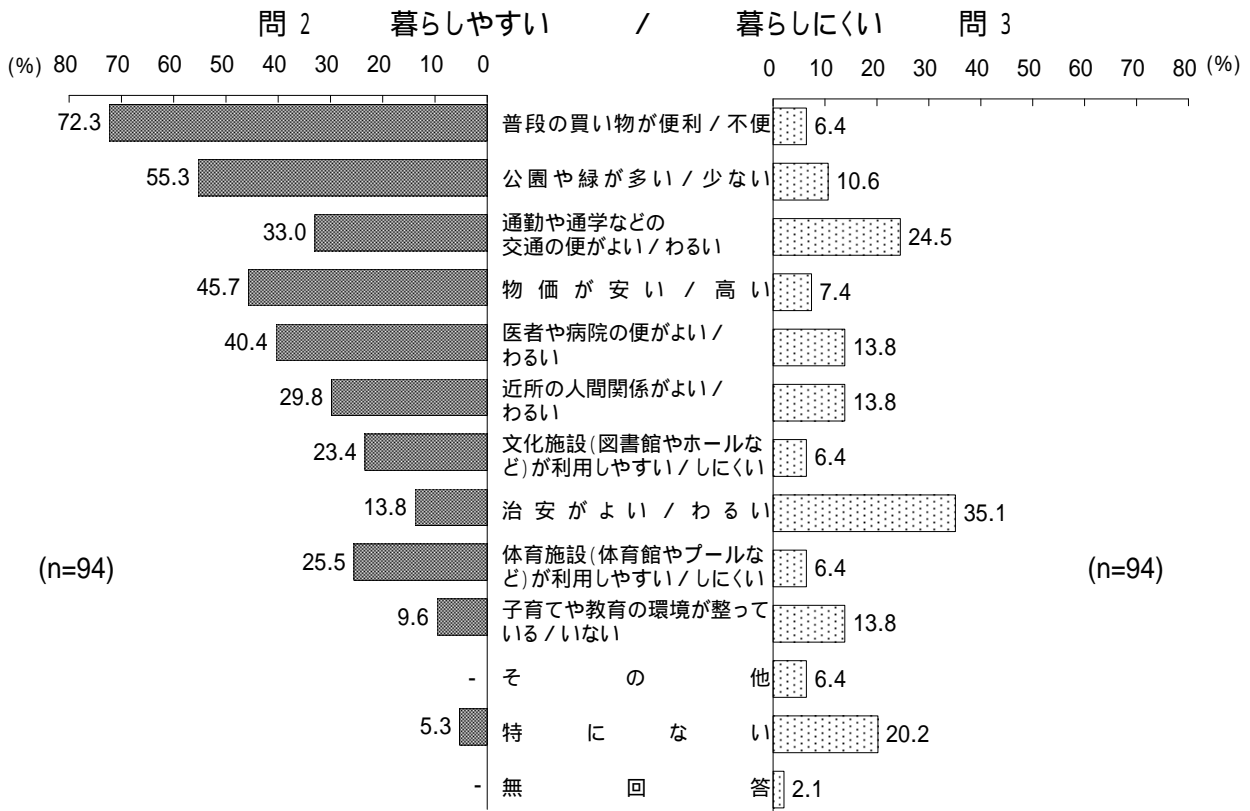


図 1 - 2 - 1 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

< 第8ブロック >



< 第9ブロック >

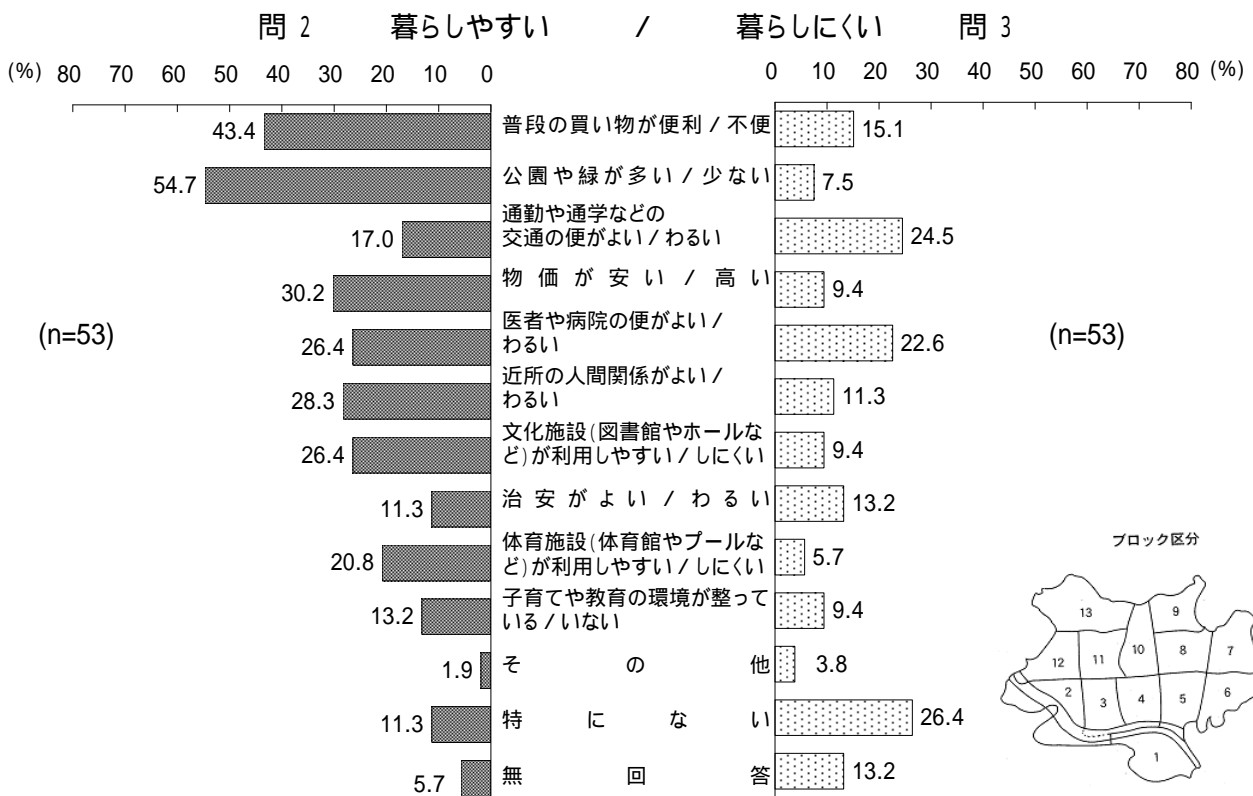
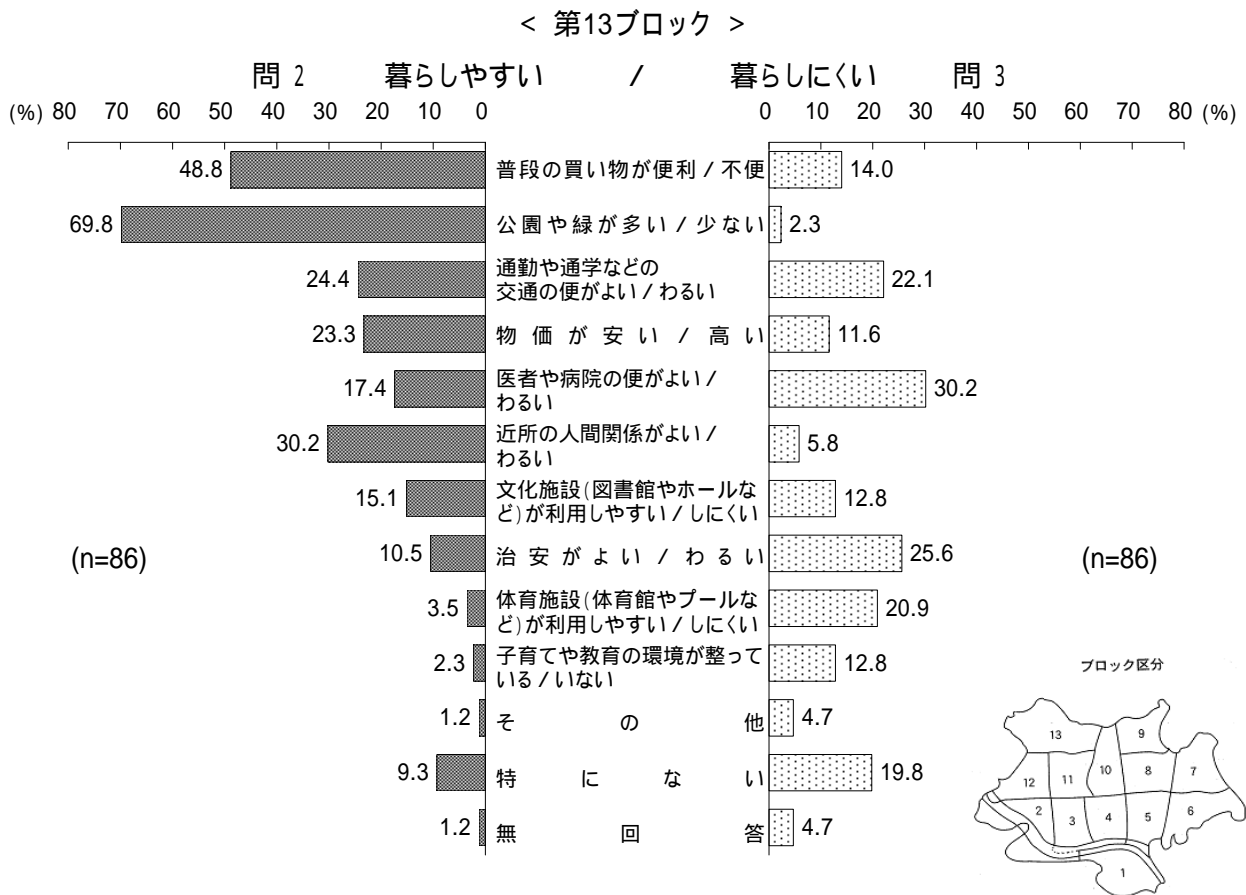
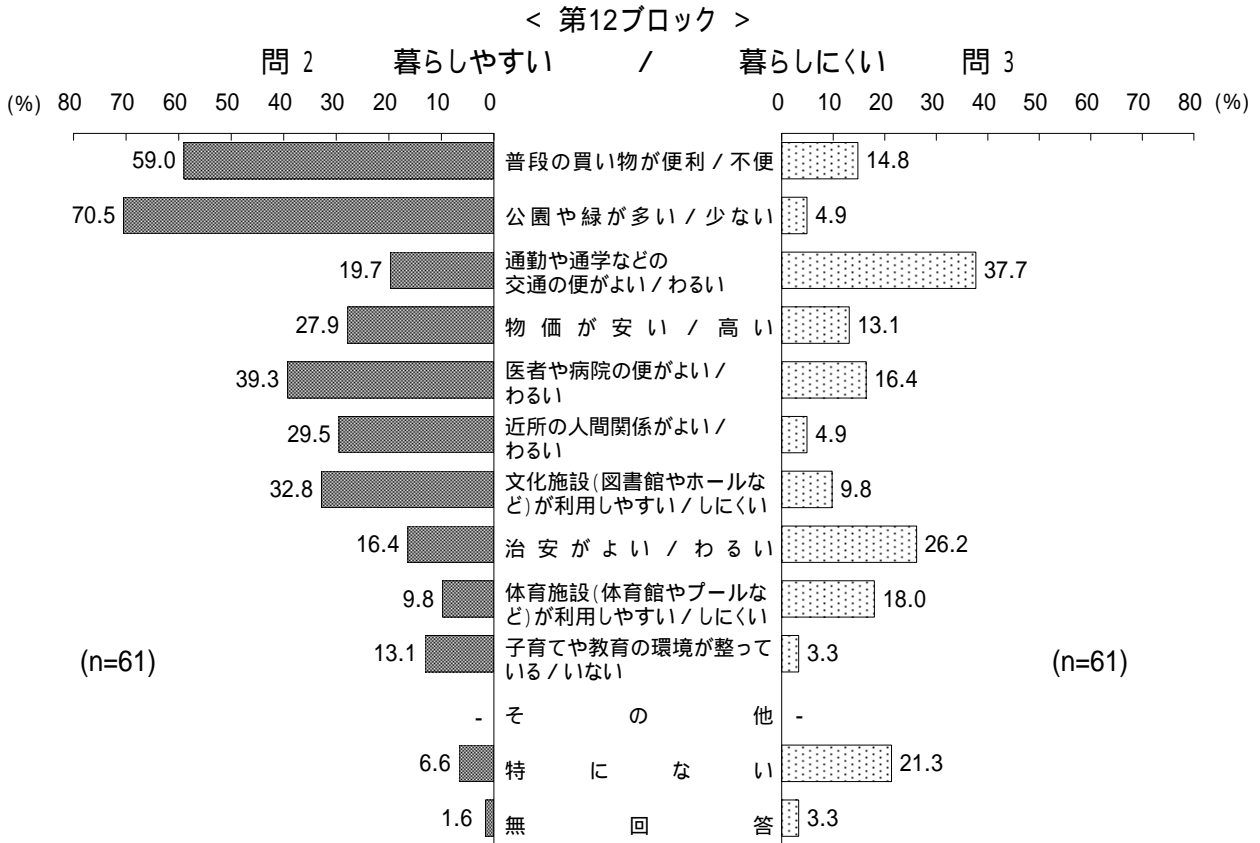


図 1 - 2 - 1 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -



性・年代別に暮らしやすい点を見ると、図1-2-2のとおりである。

全体で第1位の「普段の買い物が便利」は女性60代(70.1%)が最も高い。第2位の「公園や緑が多い」は男性50代(58.0%)が最も高く、男性30代、50代、70歳以上、女性50代、60代、70歳以上においても50%台となっている。第3位の「通勤や通学などの交通の便がよい」は男性30代(51.2%)と女性50代(45.4%)で高くなっている。

暮らしにくい点では、全体で第1位の「治安が悪い」は男性20代(48.4%)が最も高く、女性20代との差は12.4ポイントとなっている。男女ともに年代が上がるにつれ低下する傾向がある。また、「特にない」は男女共に50代以上では20%を超えている。

図1-2-2 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点（性・年代別）

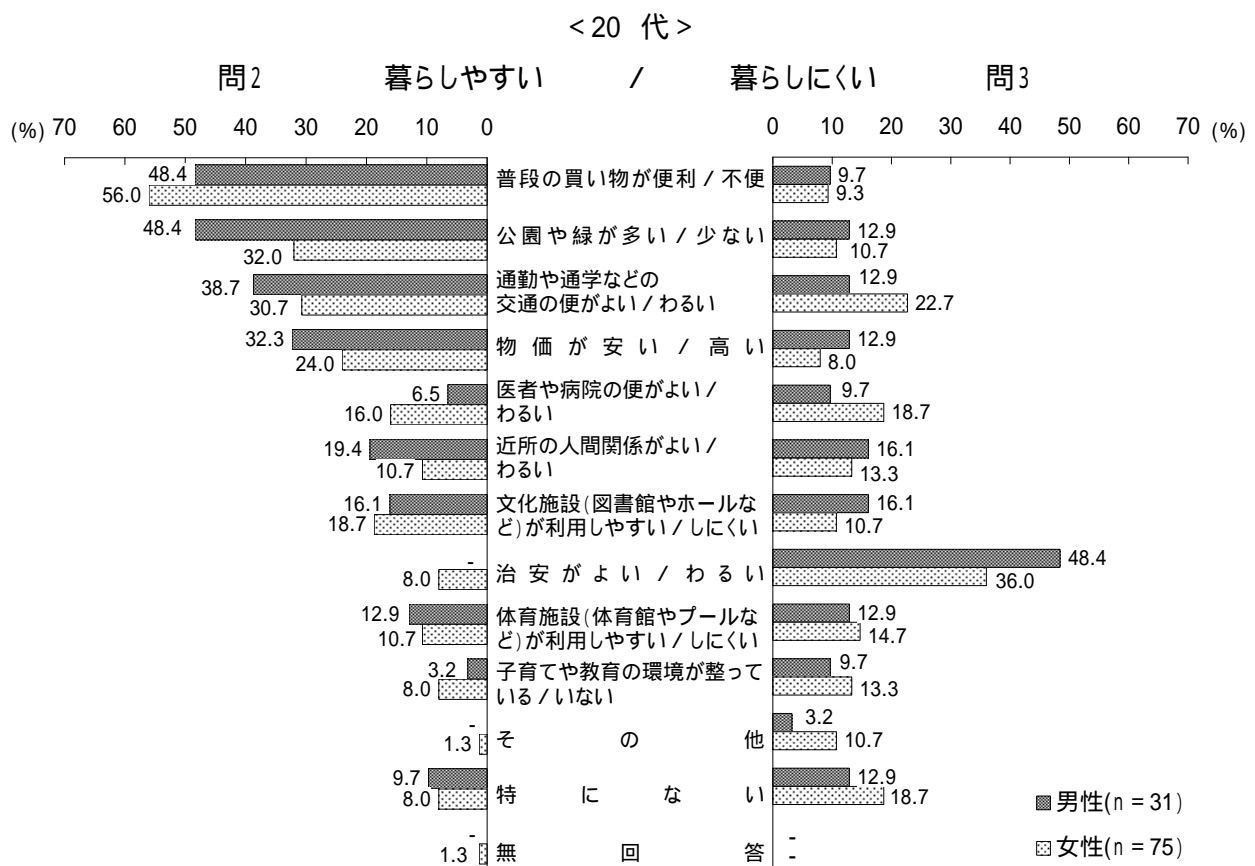


図 1 - 2 - 2 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点（性・年代別） - つづき -

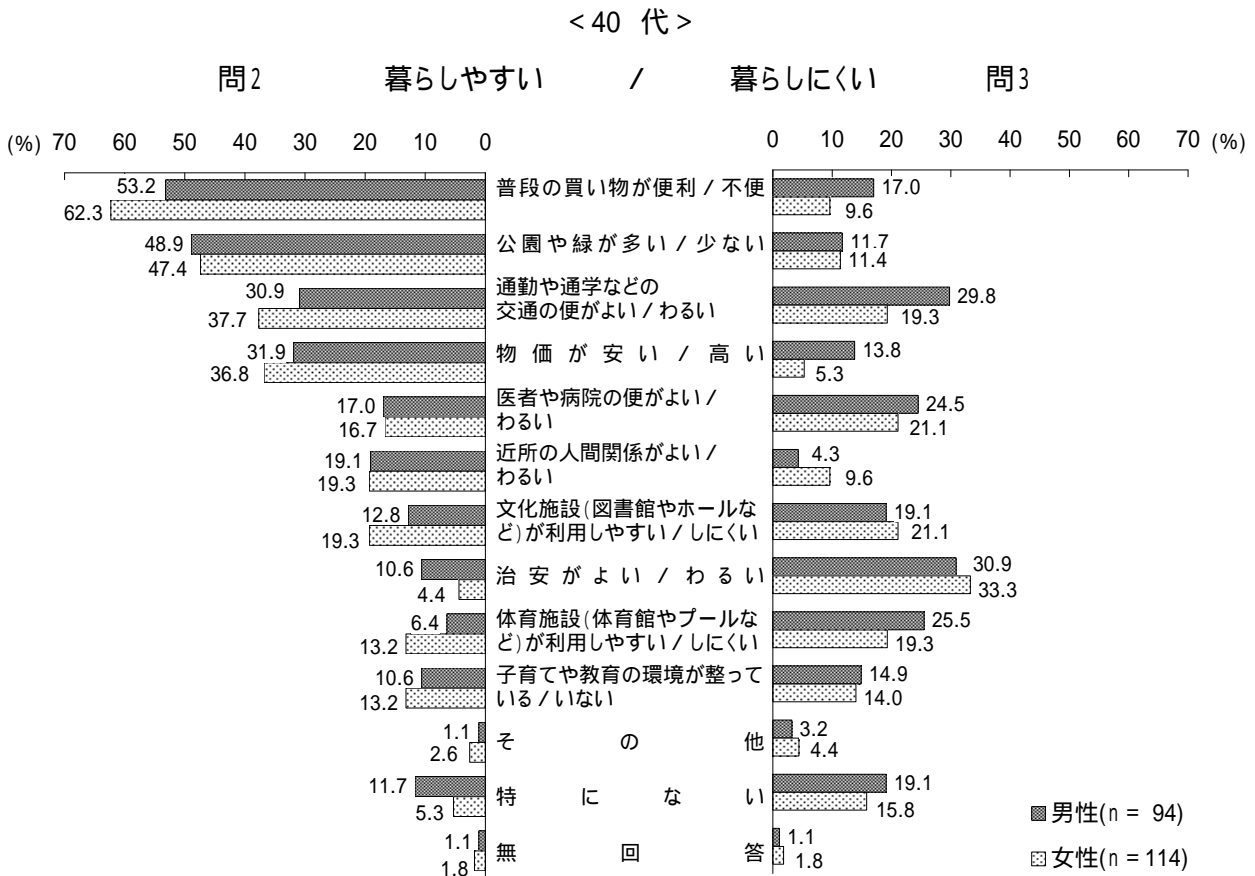
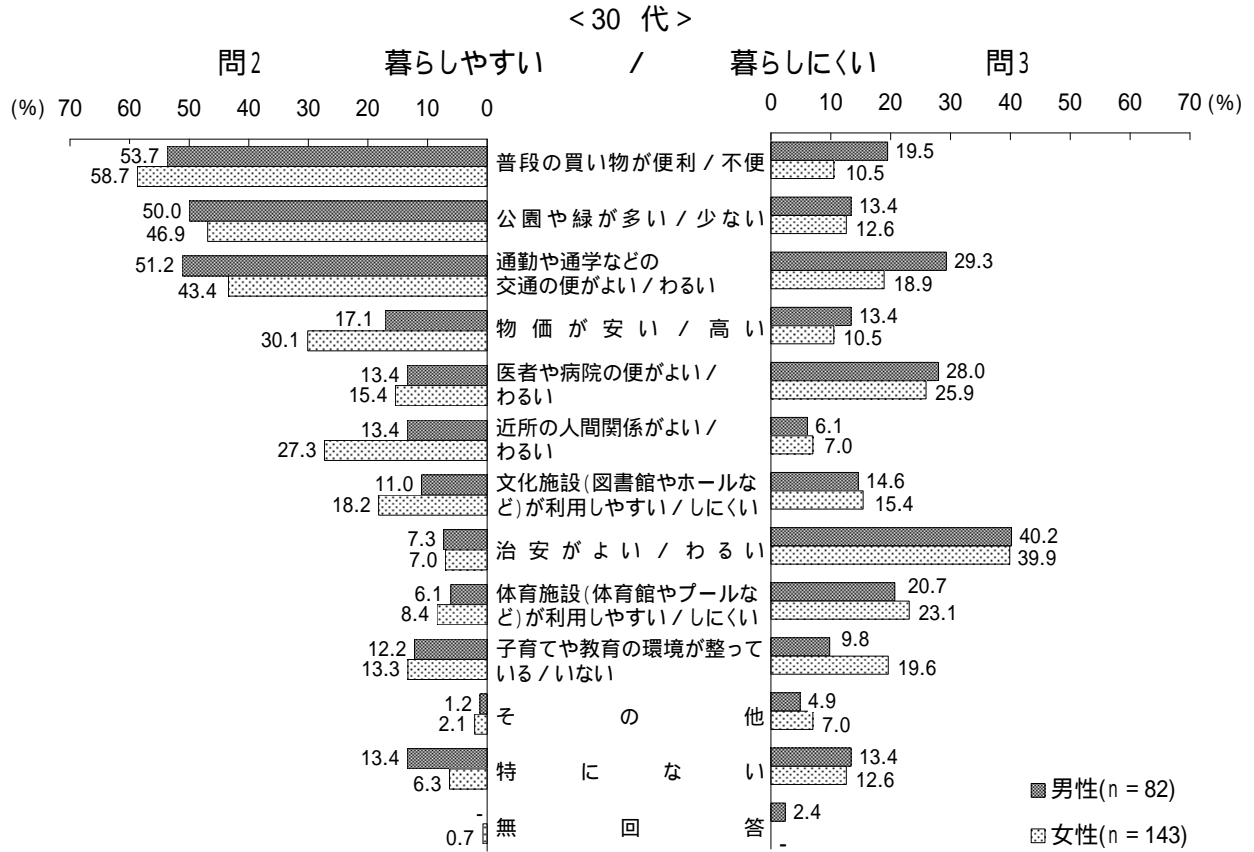


図 1 - 2 - 2 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点（性・年代別） - つづき -

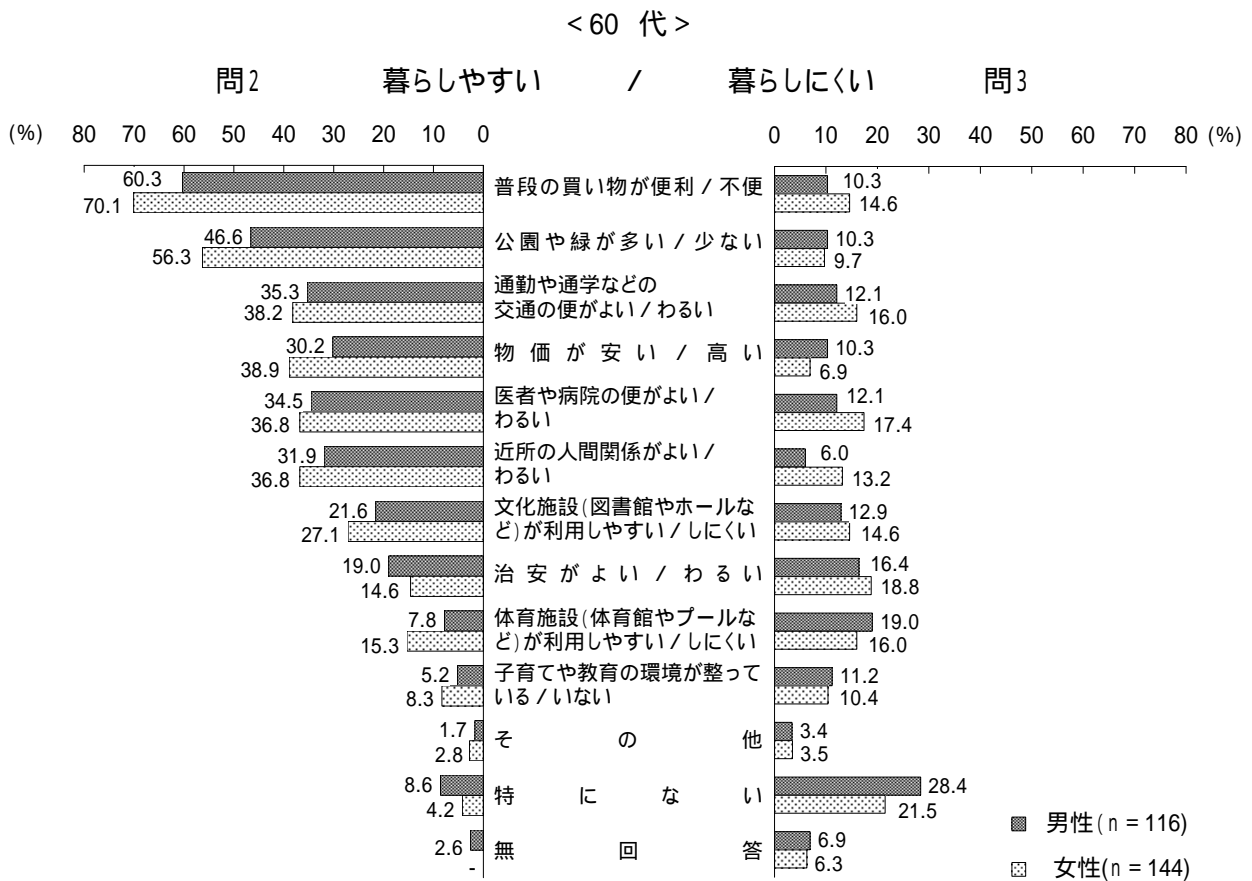
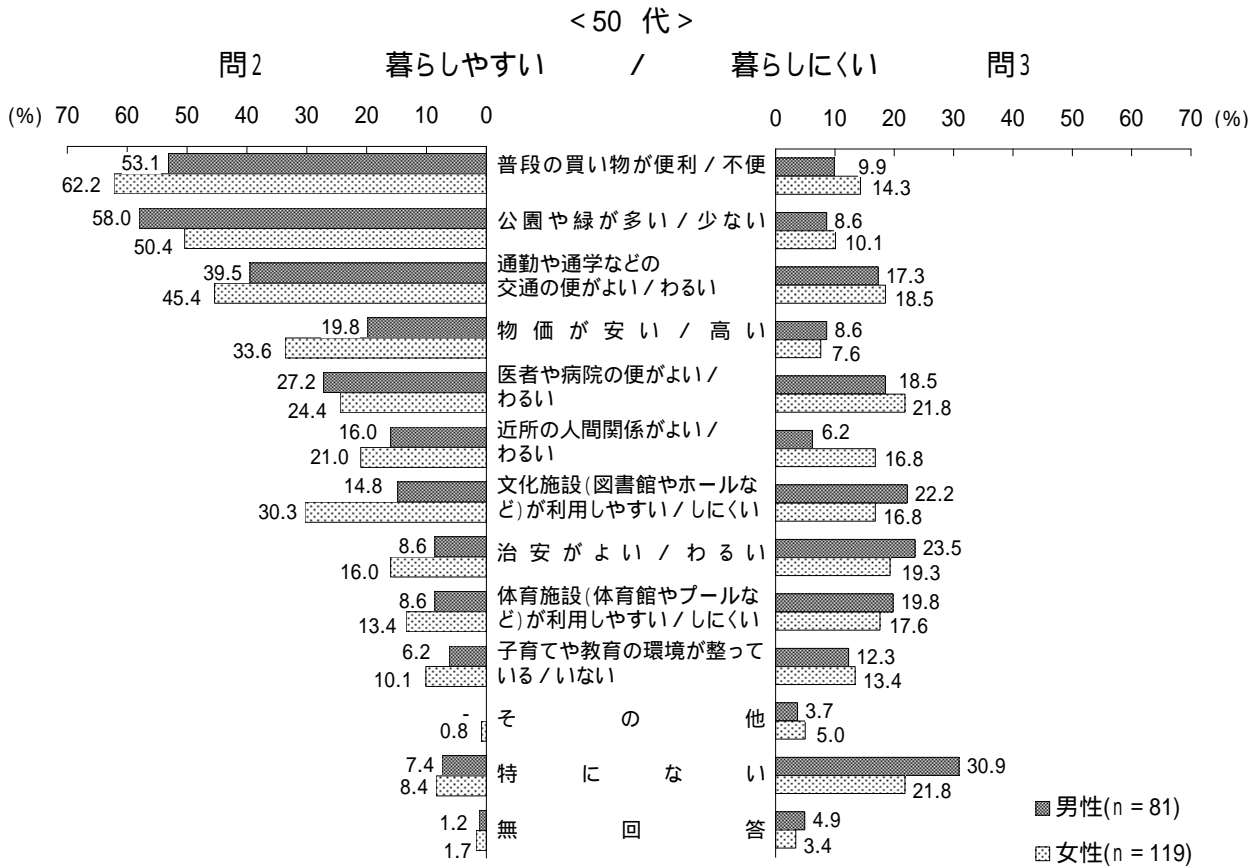
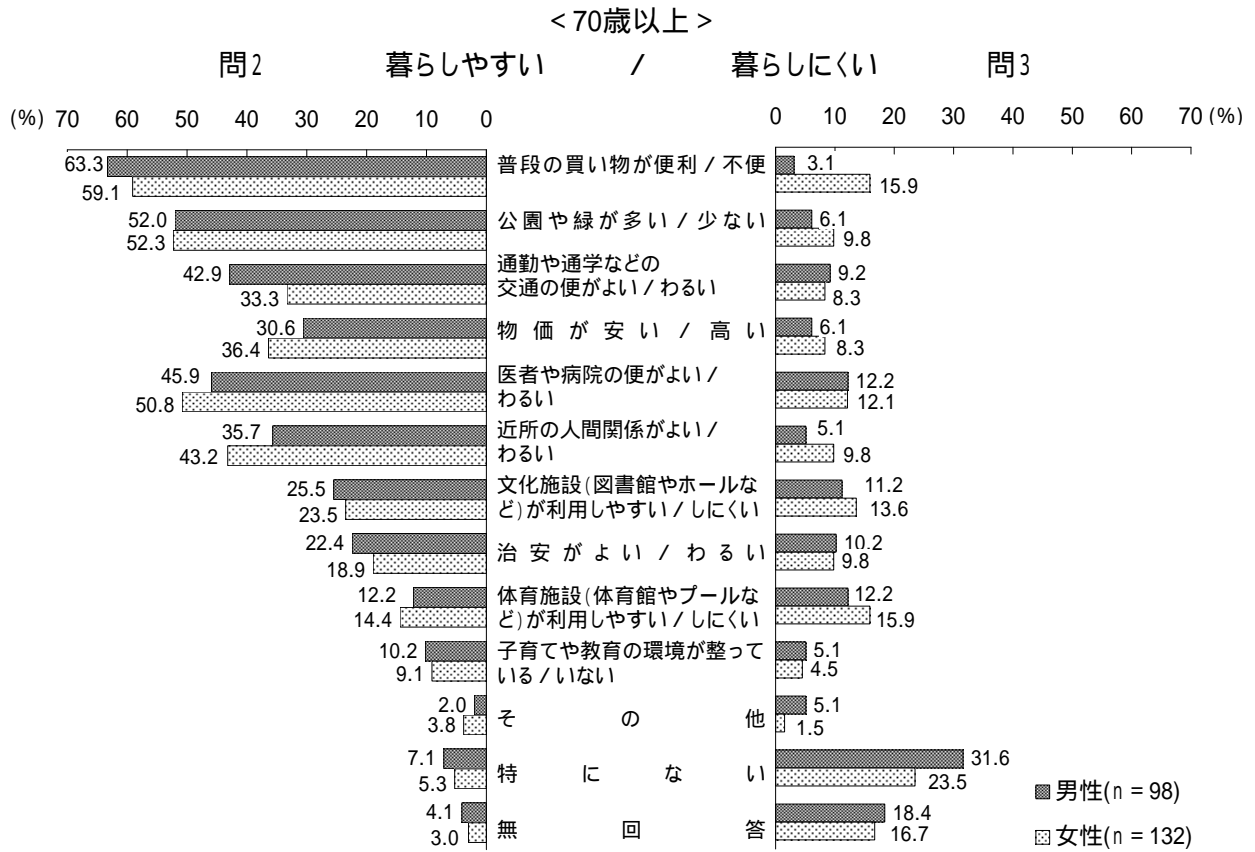


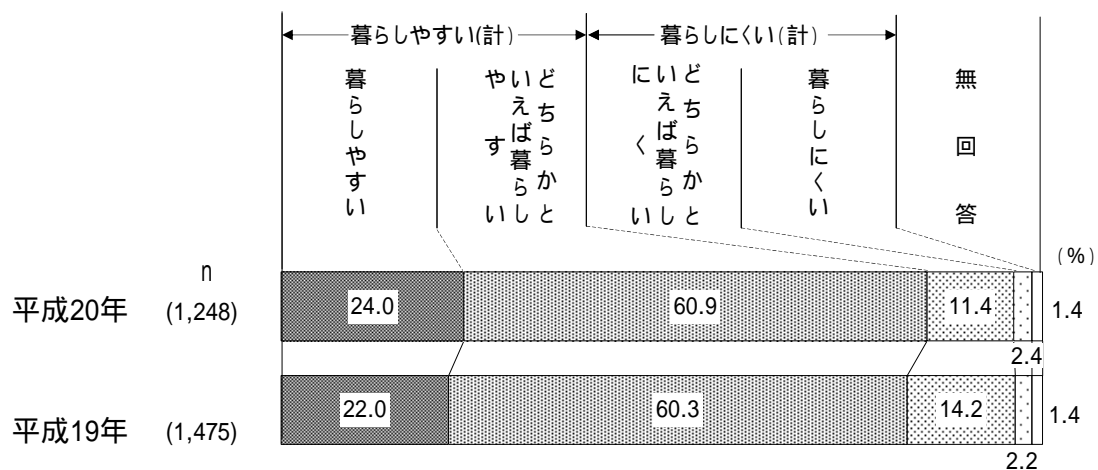
図 1 - 2 - 2 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点（性・年代別） - つづき -



(3) 総合的な暮らしやすさ

《暮らしやすい》と感じている人が84.9%で昨年より2.6ポイント上昇

問4 それでは、以上のことを踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じますか。(は1つ)



今住んでいるところが暮らしやすいと感じているかについて、「暮らしやすい」と回答した人は24.0%であり、「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人(60.9%)と合わせた《暮らしやすい》は全体の84.9%を占めている。一方、「暮らしにくい」と回答した人(2.4%)と「どちらかといえば暮らしにくい」と回答した人(11.4%)を合わせた《暮らしにくい》は13.8%である。

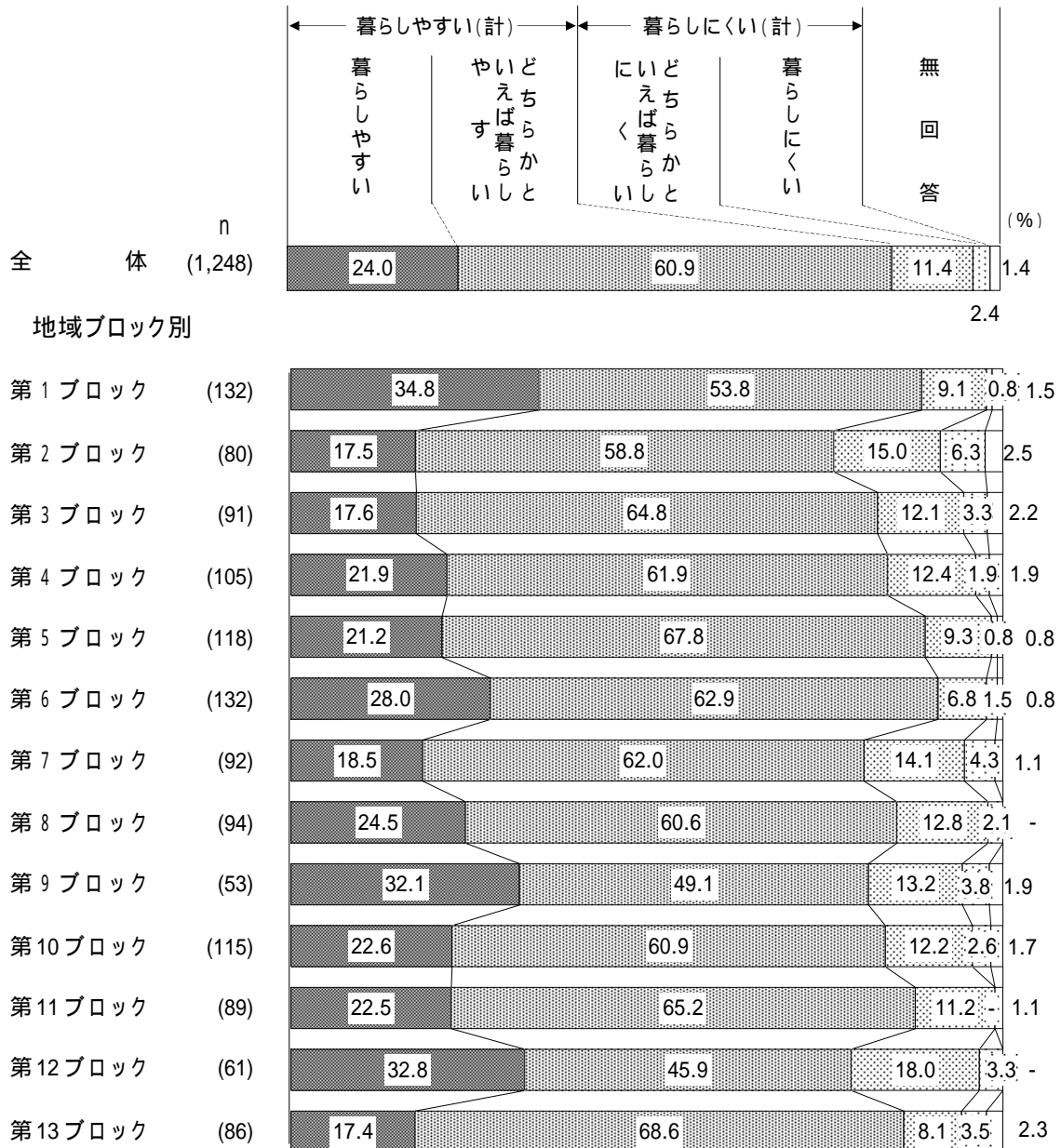
平成19年と比較すると、《暮らしやすい》と感じている人は2.6ポイント上昇している。

地域ブロック別に見ると、図1-3-1のとおりである。

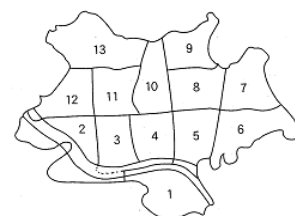
《暮らしやすい》が85%を超えるブロックは、第1、第5、第6、第8、第11、第13ブロックである。

一方《暮らしにくい》では、第2、第12ブロックが最も高く、どちらも21.3%となっている。

図 1 - 3 - 1 総合的な暮らしやすさ (地域ブロック別)



ブロック区分

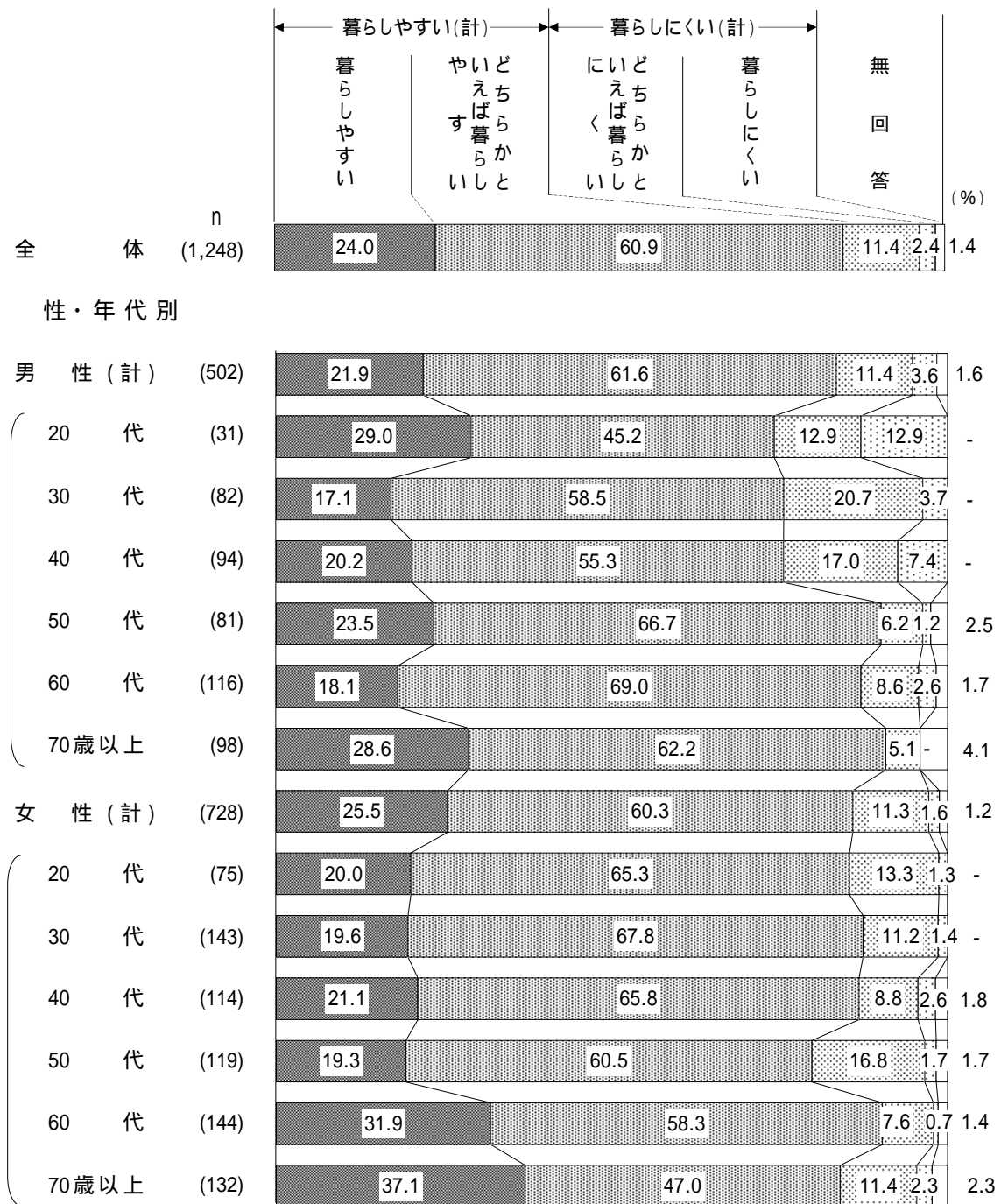


性・年代別にみると、図1 - 3 - 2のとおりである。

《暮らしやすい》は男性では70歳以上(90.8%)、女性では60代(90.3%)が最も高い。

《暮らしにくい》は男性20代、30代、40代が20%以上を示し比較的高い。

図 1 - 3 - 2 総合的な暮らしやすさ (性・年代別)



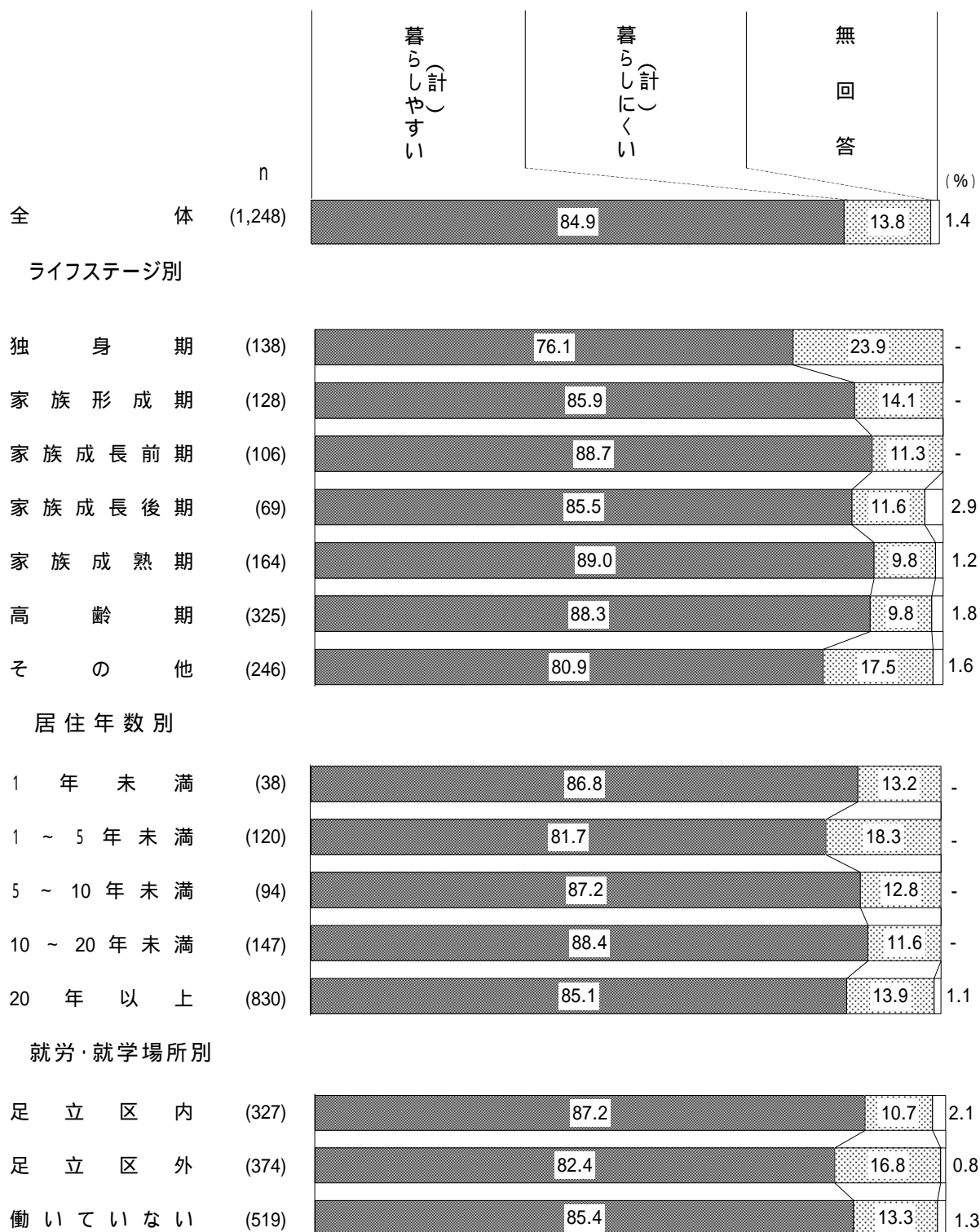
ライフステージ別、居住年数別、就労・就学場所別にみると、図1 - 3 - 3のとおりである。

ライフステージ別では《暮らしやすい》が「家族成熟期」で89.0%と最も高い。一方で《暮らしにくい》は「独身期」が23.9%を示している。

居住年数別では、《暮らしやすい》が「10～20年未満」で88.4%と最も高くなっている。

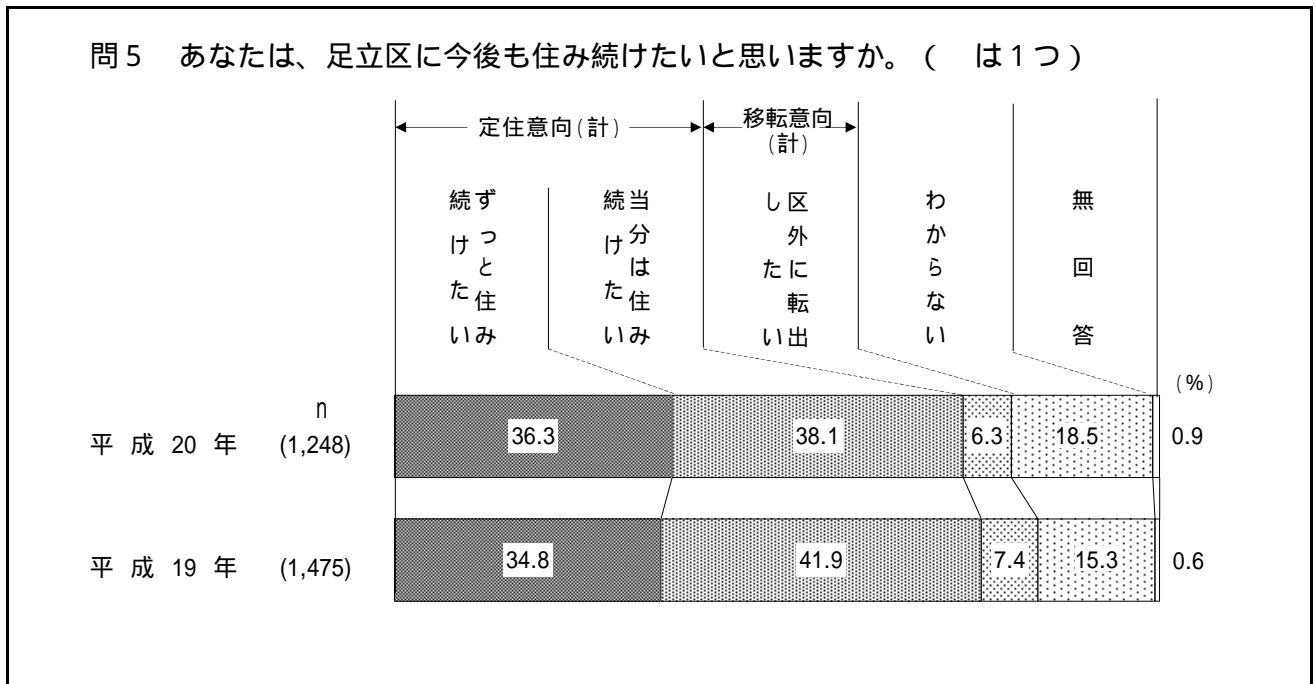
就労・就学場所別では、《暮らしやすい》がいずれも80%を超えている。

図 1 - 3 - 3 総合的な暮らしやすさ（ライフステージ別、居住年数別、就労・就学場所別）



(4) 定住・移転意向

74.4%が《定住意向》をもっている



区内に「ずっと住み続けたい」(36.3%)と「当分は住み続けたい」(38.1%)を合わせた《定住意向》を持っている人が74.4%を占めている。「区外に転出したい」という《移転意向》を持っている人は6.3%であるが、一方で「わからない」と回答した人も18.5%みられる。

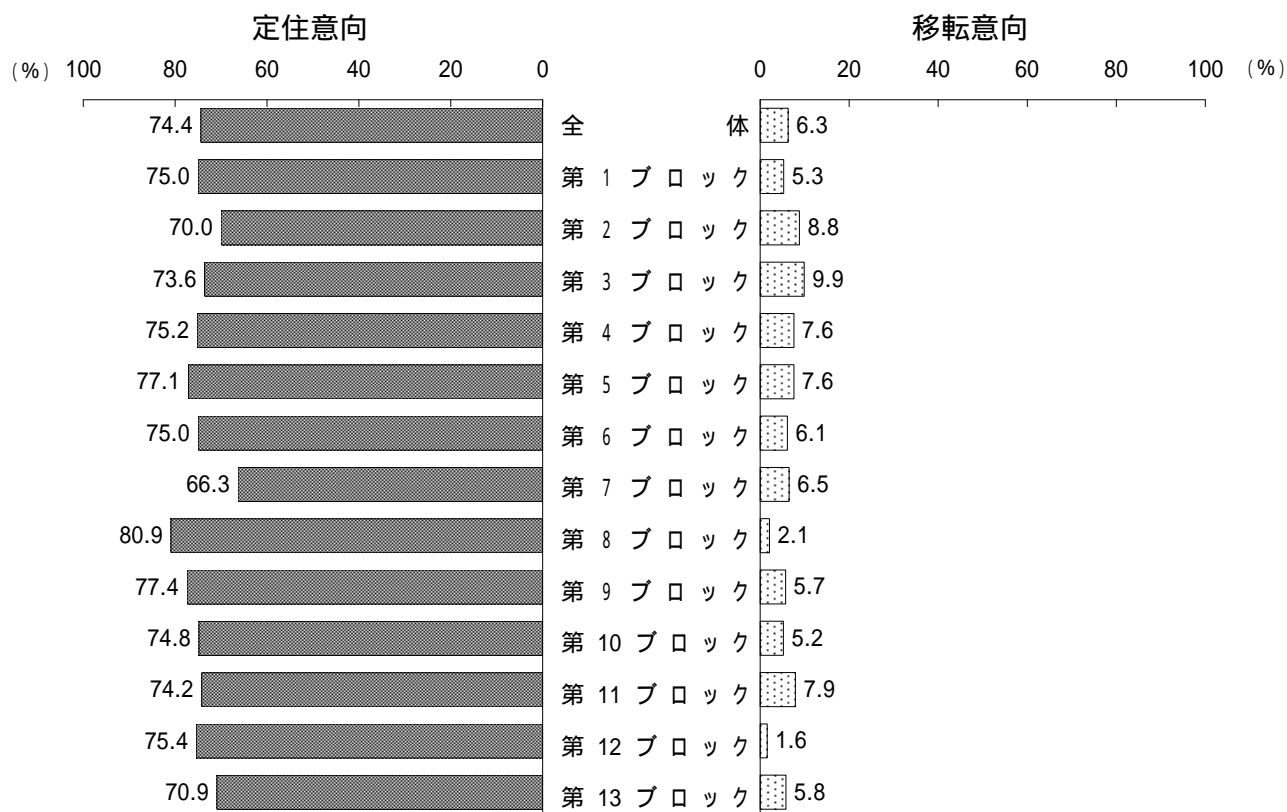
平成19年と比較すると《定住意向》は2.3ポイント下降した。

地域ブロック別にみると、図1 - 4 - 1のとおりである。

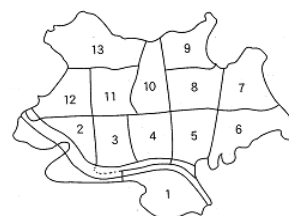
《定住意向》が高いのは、第8ブロック(80.9%)、第9ブロック(77.4%)であり、一方で《定住意向》が低いのは第7ブロックの66.3%である。

《移転意向》が高いのは、第3ブロック(9.9%)、第2ブロック(8.8%)である。

図 1 - 4 - 1 定住・移転意向 (地域ブロック別)



ブロック区分



性・年代別にみると、図1 - 4 - 2のとおりである。

〈定住意向〉は全体としては男性が女性よりも高い傾向にあり、男性70歳以上が最も高く89.8%となっており、女性70歳以上とは6.5ポイントの差がある。また、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

就労・就学場所別にみると、図1 - 4 - 3のとおりである。

〈定住意向〉は「足立区外」で就労・就学している人において、比較的低い(69.3%)。

図 1 - 4 - 2 定住意向 (性・年代別)

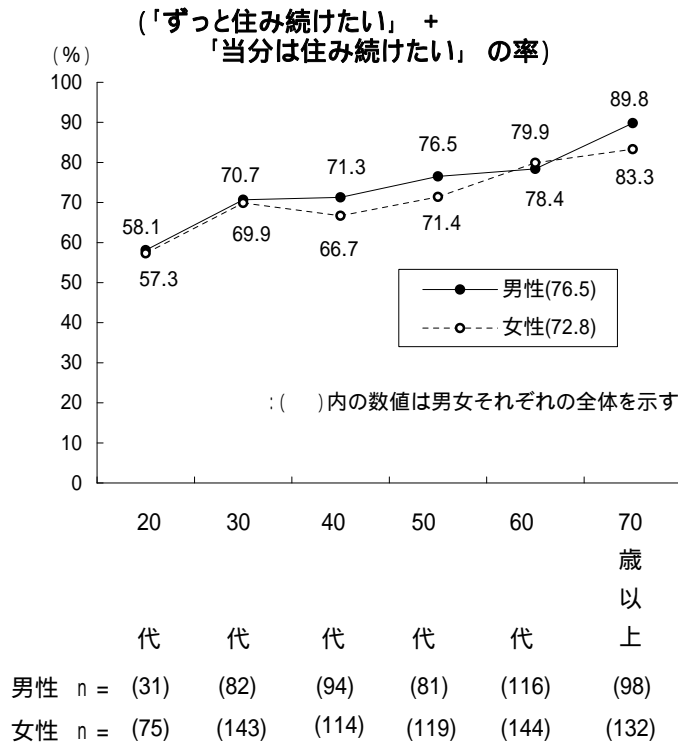
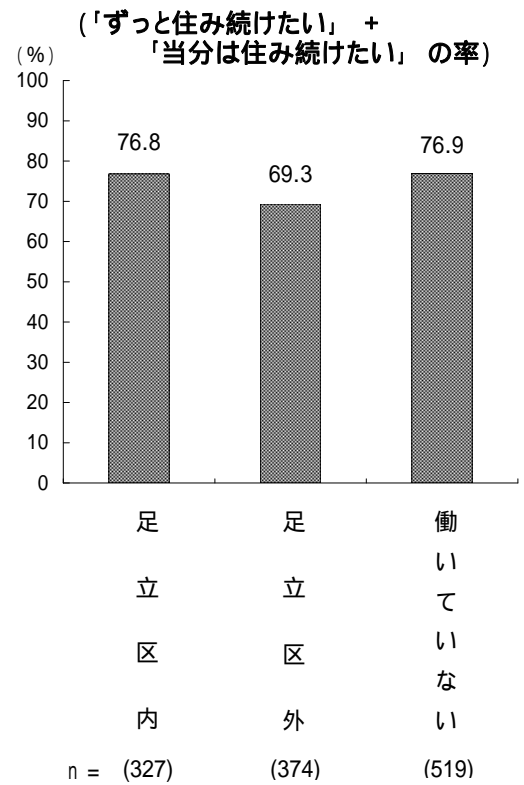


図 1 - 4 - 3 定住意向 (就労・就学場所別)

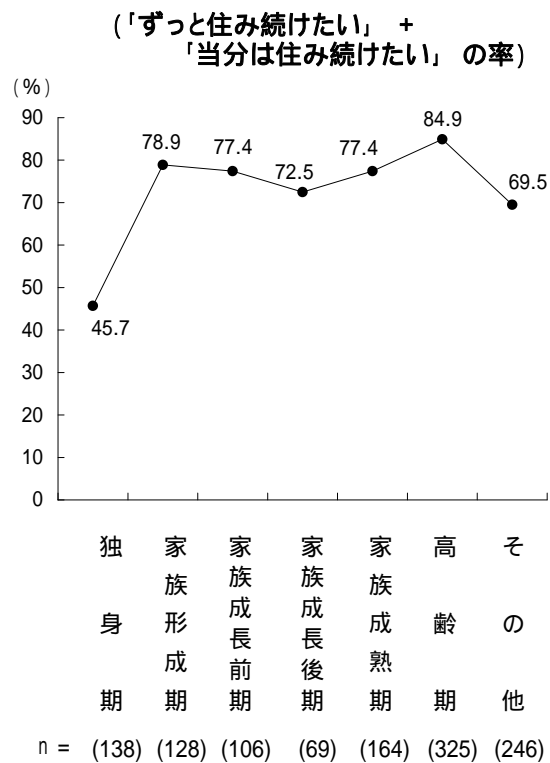


ライフステージ別にみると、図1 - 4 - 4のとおりである。

〈定住意向〉は「高齢期」(84.9%)において最も高く、次いで家族形成期(78.9%)となっている。

一方、最も低いのは「独身期」(45.7%)である。

図 1 - 4 - 4 定住意向 (ライフステージ別)



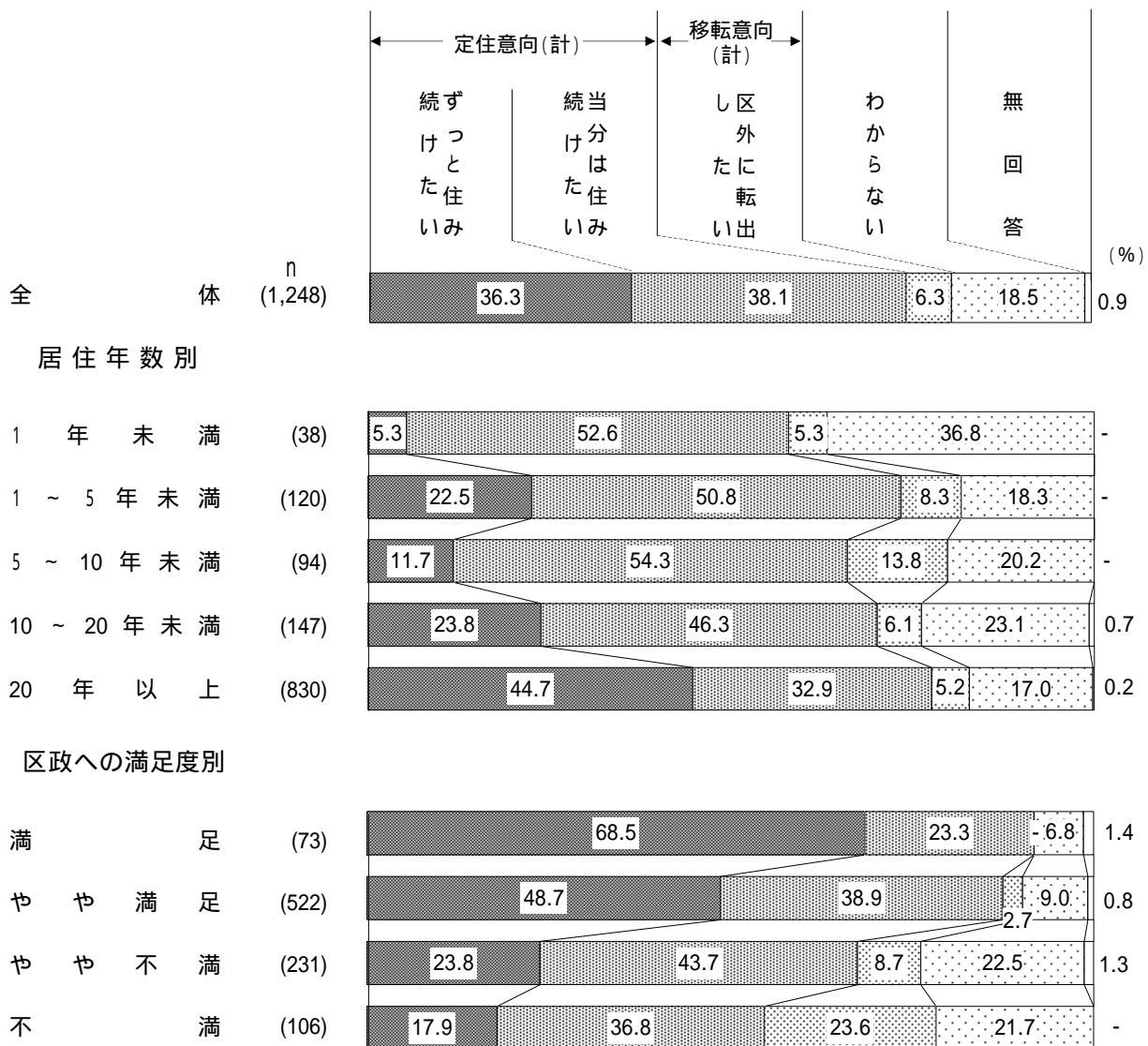
居住年数別にみると、図1-4-5のとおりである。

《定住意向》のうち「ずっと住みたい」が最も高いのは「20年以上」で44.7%である。一方、「1年未満」では5.3%と最も低い。

区政への満足度別にみると、満足度が高くなるにつれ、《定住意向》の「ずっと住みたい」の割合も高くなり、《移転意向》の割合は低くなっていく。

定住・移転意向の推移では、平成13年以降、ほとんど変化はみられない。

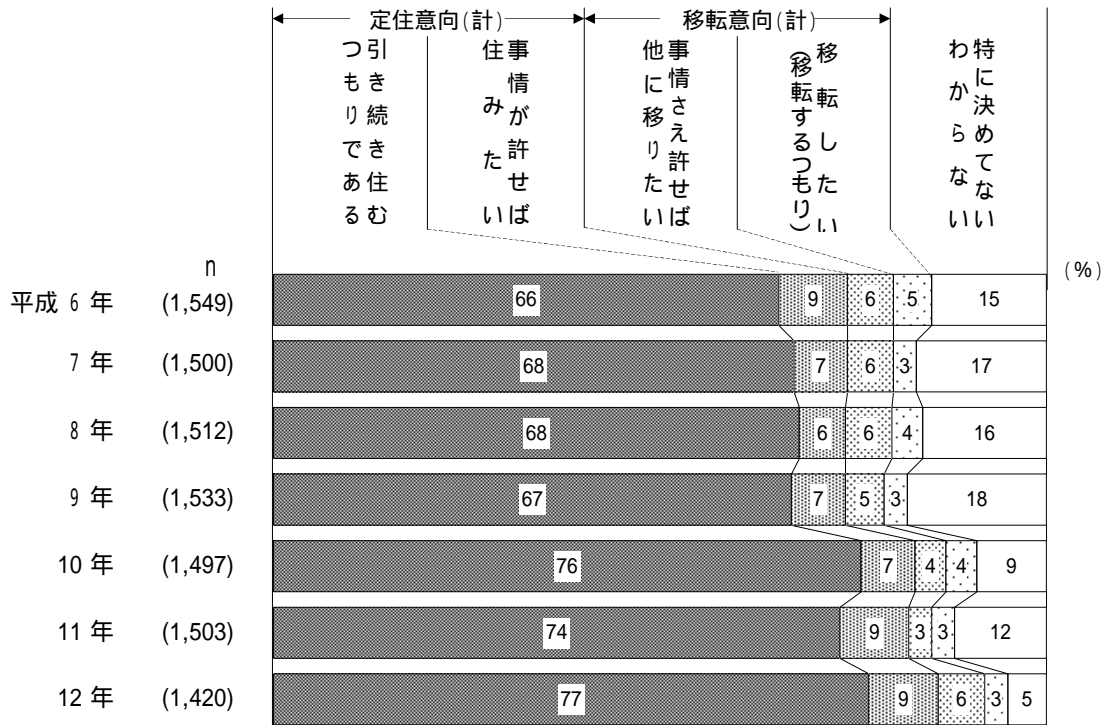
図 1 - 4 - 5 定住意向（居住年数別、区政への満足度別）



参考 定住・移転意向の推移

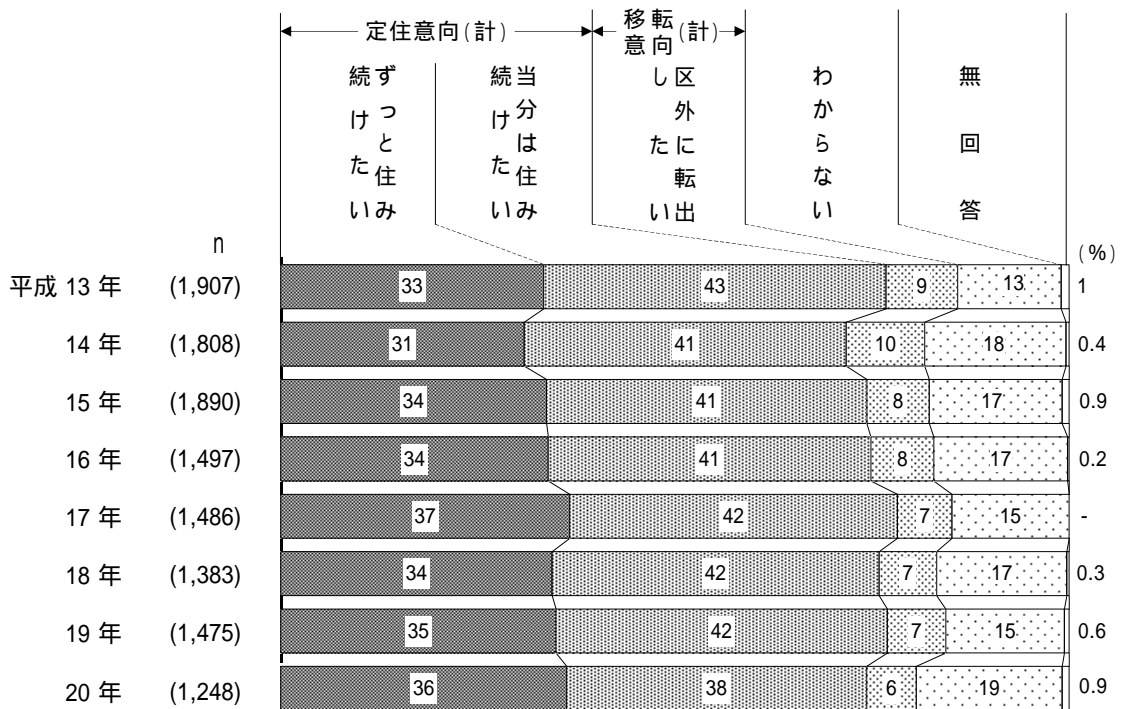
(平成12年まで 訪問面接法)

問 あなたは、足立区に今後も住みたいと思いますか。この中から1つお答えください。(は1つ)



(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問5 あなたは、足立区に今後も住みたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。